

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和3年8月3日(火曜日) 15時10分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	熱中症	性別	男性	年齢	46	業種区分	建築
被災程度	被災者は、意識はあるが動けない状態となった。また、手足のしびれを訴えた			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	7日
工事概要	便所改造工事に伴う解体工事						
事故概要	被災者が、15時の休憩をするため外部の足場階段を降りた後、突然トラックの横に座り込んだため、同作業を行っていた作業員が声をかけたところ、意識はあるものの被害者が動けない状況になっていた。そのため、被災者を横にして作業服を開放し、購入してきた氷で体を冷やしたが、手足のしびれを訴えたため救急搬送したものである。						
事故原因	当日の気象条件(最高気温34℃、及び湿度が高かった)に加え、作業がコンクリート解体のため、防護マスク、防護作業服を着用しながらの作業であったことから、大量の汗をかき、脱水症状を起こしたと考えられる。						
改善策	・1時間毎の小休憩及びこまめな水分補給を指示した。また、十分な睡眠及び体調管理など現場外についても注意を喚起した。 ・暑さ指数の低減をはかるため、送風機を増設した。						

事故状況図

作業箇所

解体作業中

改善状況図

送風機を増設

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 3年 8月 7日(土曜日) 10時00分			工事関係者区分	三次下請
事故区分	その他	性別	男性	年齢	42	業種区分	土木
被災程度	右手薬指(腱)の負傷			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	5
工事概要	桝及び取付管の撤去・新設						
事故概要	桝及び取付管の取り換えのため、堀山の内部にて既設取付管(陶管)の撤去を人力(ハンマー)で行っていたところ、取壊し中の既設取付管に誤って手をぶつけてしまい、右手薬指(腱)を負傷したものの。						
事故原因	身体が接触しやすい器材を使用していたこと及び、作業員の不注意である。						
改善策	受注者社内にて事故再発防止研修を開催し、事故の検証・再発防止について周知を行い、安全に対する意識の向上を図った。また、作業前のKY活動および毎月の安全訓練において、今回の事故事例に基づき、使用資機材での作業内容の見直しや、作業の危険なポイントの把握など、更に安全に向けた取り組みを行うよう指導した。						

事故状況図



ハンマーで取壊し中に右手薬指を負傷

改善状況図

再発防止研修の実施状況

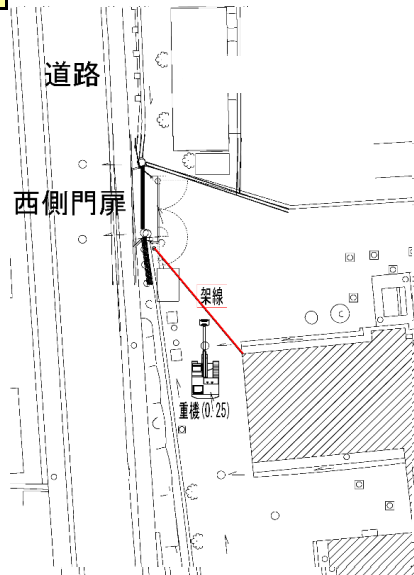


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 3年 8月9日(月曜日) 14時00分頃			工事関係者区分	二次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	架空線の切断			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	建物内部改造工事						
事故概要	場内の重機(バックホウ0.25m3)の自走移動中に建物から鉄柱(監視カメラ設置)に渡っている架空線にアームが接触し、切断した。						
事故原因	建物西側の狭隘箇所を通行中、他工事の車両がバックホウの通過を待っていた為、通過を急ぎ、運転者が目測を誤ったもの。運転者の周囲確認が不十分であった。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員への指導を徹底する。 ・車両移動時は必ず誘導員を付ける。 						

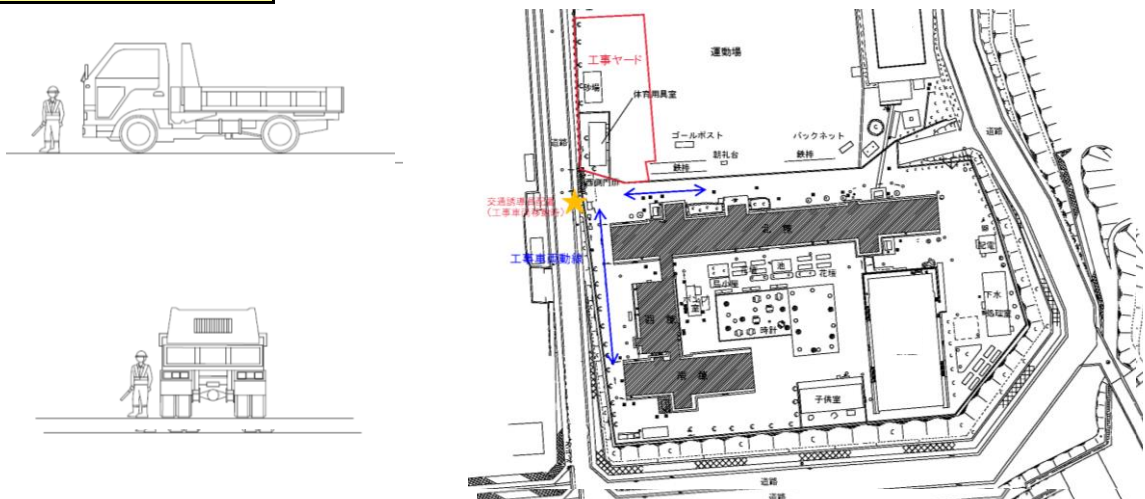
事故状況図

工事車両移動の際、バックホウ(0.25m3)のアームが架空線に接触

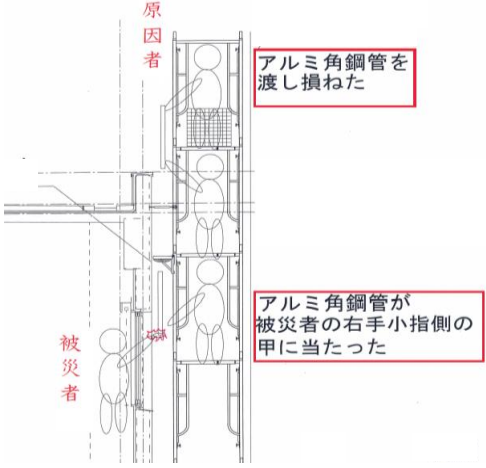
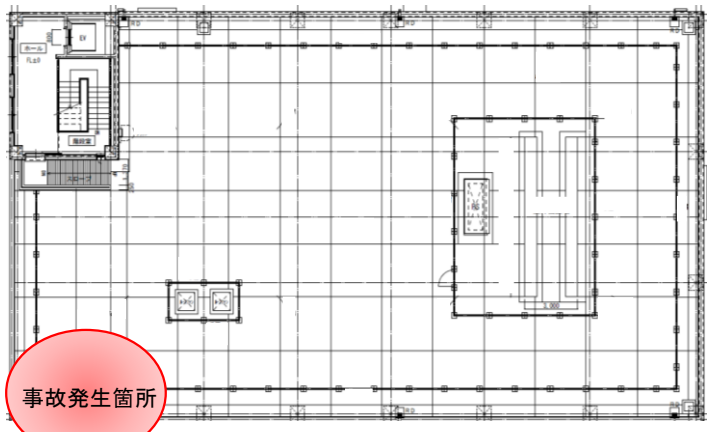




改善状況図

今後、校内の工事用車両移動時は必ず交通誘導員を配置。



公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和3年8月11日(水曜日)11時50分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	飛来落下	性別	男性	年齢	26才	業種区分	建築
被災程度	右手第5中手骨骨折			事故レベル	I	休業見込日数	0日
工事概要	構造物築造に伴う型枠解体作業						
事故概要	屋上にある型枠材を2階に荷下ろし作業中、屋上から受け渡しをする作業員が手を滑らせて型枠材を落下させ、2階で受け取りのため手を出していた被災者の右手小指側の甲に当たり骨折したものの。						
事故原因	上下作業において資材落下の危険予知が十分にできていなかった。						
改善策	・資材の荷下ろし作業は、確実に玉掛けして吊り下ろすことを原則とする。また、現場状況等によりやむを得ず上下作業を行う場合は、作業開始前に作業員全員による現地KY活動で災害防止対策を確認し、作業員を斜めに配置して作業を実施することとした。 ・現在、実施しているKY活動及び現地KY活動に加え、作業終了後に作業班毎でKY活動の振り返りの時間を設け、作業員全員に安全意識の徹底を図ることとした。また、特別安全教育を実施し、不安全行動等の防止を図ることとした。さらに、新たな取り組みとして、「一声かけ運動」を実践しており、現場で働く全員が声を掛け合い、安全意識の徹底を図っている。						
事故状況図							
 <p>原因者</p> <p>アルミ角鋼管を渡し損ねた</p> <p>被災者</p> <p>アルミ角鋼管が被災者の右手小指側の甲に当たった</p> <p>事故状況断面図</p>				 <p>事故発生箇所</p> <p>事故発生箇所平面図</p>			
改善状況図							
 <p>特別安全教育</p>				 <p>現地KY状況</p>			

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年8月17日(火曜日) 16時50分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他	性別		年齢		業種区分	建築
被災程度	配管破損			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	壁改修工事						
事故概要	部材(単管パイプ、長さ1.5m)2本を既設足場に立てかけたまま片付け作業を行っていたところ、立てかけた手摺部材が倒れ、すぐ横に配管されていた排気用塩ビ管に接触して損傷させた。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・資材仮置き作業についての危険予知が十分でなかった。 ・一人で作業をしており、周辺状況の把握ができていなかった。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・二人作業の徹底 ・足場部材の立てかけ禁止、床置きとする。 ・現場の施設状況の確認を徹底し、危険予知につとめる。 ・事故発生個所に折損防止のため養生を行なった。 						

事故状況図

近傍に立てかけていた足場材が転倒し既設配管を破損



改善状況図

折損防止のための養生実施状況

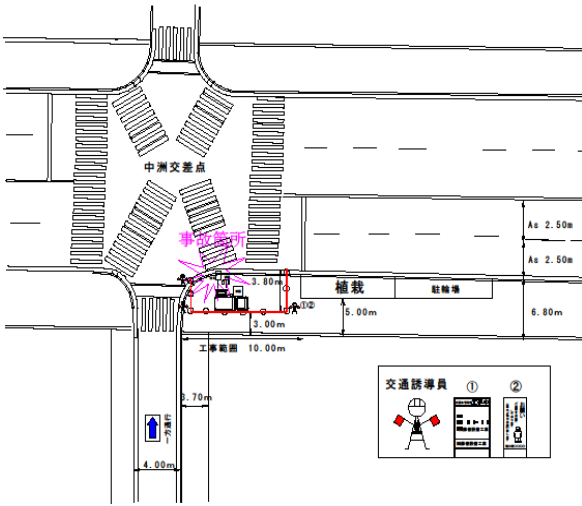
2人作業の徹底状況



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 3 年 8 月 20 日(金曜日)		8時45分	工事関係者区分	一次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	歩行者信号機の破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	管布設工事						
事故概要	歩道上試掘工事中において、バックホウの操作を誤り、歩行者信号機を破損させたもの。						
事故原因	・バックホウ操作時における周囲への安全確認不足のため。 ・作業中の合図が不足しており、バックホウ操縦者と作業員との連携が取れていなかったため。						
改善策	・作業員全員で作業前に周囲の安全確認を行うことを徹底した。 ・機械の運転時は、指揮者による合図を行うことを徹底した。 ・作業前に現場で危険予知される懸念事項を定め、作業員全員に周知を行い、事故防止に努めることを徹底した。 ・事故再発防止研修を実施し、安全意識の向上を図った。						

事故状況図



改善状況図

事故再発防止研修

研修内容

- ・事故の原因及び反省点
- ・再発防止対策の確認



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年8月10日(火曜日) 時 分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	敷地内の電線切断			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	内部改造工事						
事故概要	大型工事車両による、敷地内の電線切断						
事故原因	大型工事車両進入時の周囲の確認が不足していた						
改善策	工事車両進入時には必ず合図者を配置し、架空線等に十分注意を行う。						

事故状況図

電線切断箇所



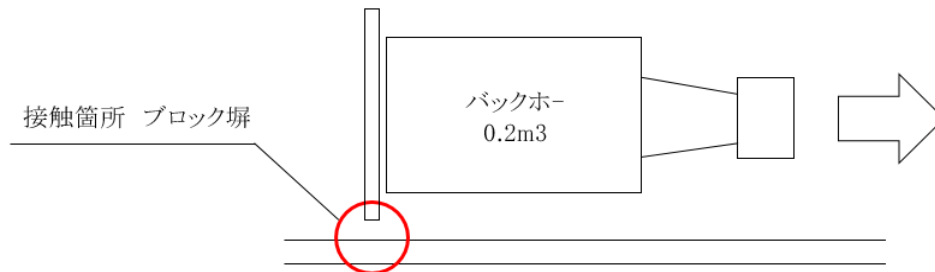
改善状況図

架線位置確認、
ミーティング中

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年8月18日(水曜日)9時00分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	住民宅ブロックの傷			事故レベル	(技術監理課で記入)	休業見込日数	—
工事概要	道路改良工事						
事故概要	バックホー0.2m3で住民宅ブロック付近を移動する際、誤操作により住民宅ブロックにバックホー0.2m3の排土板部分が接触した。						
事故原因	バックホーオペレーターの誤操作、オペレーターの単独での機械の移動。						
改善策	第三者の財産近傍作業前の、KY活動等の実施 作業時の周囲安全確認の徹底 作業用機械の移動時においても合図者を配置						

事故状況図



改善状況図

再発防止ミーティング実施状況



作業機械への誘導員配置(作業時及び移動時)

